

エコアクション21 環境経営レポート

2023年5月1日-2024年4月30日



株式会社 コマツ産業

発行日： 2024年10月10日

改定日： 2025年3月14日

目次

1.	組織の概要・対象範囲	-----	P.3
2.	実施体制	-----	P.4
3.	環境経営方針	-----	P.5
4.	環境経営目標	-----	P.6
5.	環境経営計画	-----	P.7
6.	環境経営目標の実績	-----	P.8
7.	環境経営計画の取組結果とその評価・次年度取組内容	-----	P.9
8.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果 並びに違反、訴訟等の有無	-----	P.10
9.	全体評価と見直しの結果	-----	P.11

1. 組織の概要・対象範囲

1-1 組織の概要

事業所及び代表者氏名

株式会社コマツ産業 代表取締役 今井 貴雄

所在地

〒470-0151
本社・工場 愛知郡東郷町大字諸輪字尼ヶ根34-5

環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 今井 貴雄 TEL: (0561)39-0134

事業活動の内容

自動車用ボディ、足廻り、シート等金属部品のプレス・溶接・組付け加工

事業規模

創立	1950年5月
資本金	1,000万円
売上高	1,609百万円 (2024年4月末実績)
従業員数	36名(取組期間の平均人数)
床面積	2307.46平方メートル

1-2 対象範囲(認証・登録範囲)

対象範囲 株式会社コマツ産業 全組織

活動 事業活動の内容の通り

レポートの対象期間 2023年5月1日-2024年4月30日

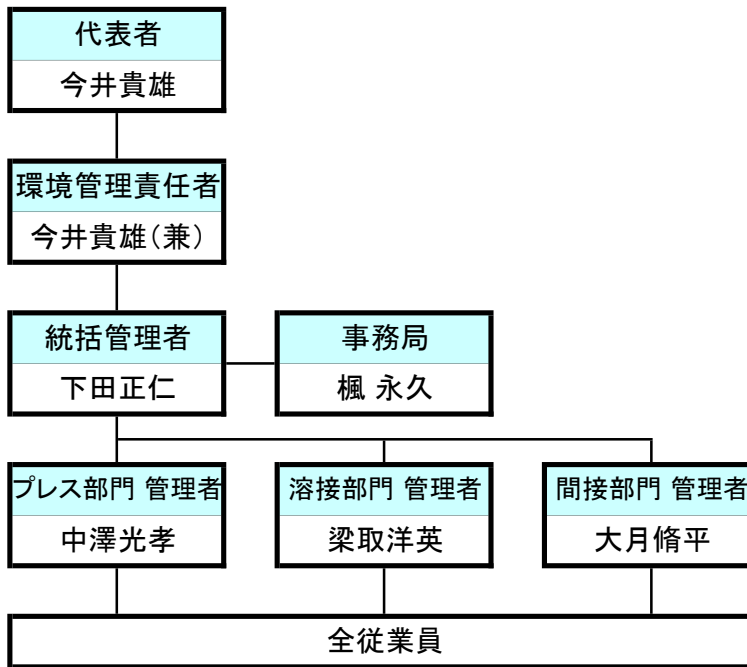
レポート発行日 2024年10月10日

##



2. 実施体制

実施体系図



役割・責任・権限

役割	責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み対象組織の決定、環境管理責任者の任命 環境経営方針の策定、必要資源(人・設備・費用等)の割り当て 全体の評価と見直しの承認 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 対象組織の明確化 環境経営システムを構築・運用・維持 組織の現状把握 <ul style="list-style-type: none"> 1) 環境経営目標の達成状況 2) 環境経営計画の実施状況及び運用の結果 3) 環境関連法規の遵守状況 全体の評価と見直しの作成
統括管理者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者に準じた責任を持ち、事務局とともに社内外の改善活動を推進
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実施体制の構築 手順書の作成、緊急事態の想定、/教育・訓練の実施 環境経営目標・経営計画の作成 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の確認及び取りまとめ 外部からの苦情等の受付対応・記録、問題点の是正・予防処置と記録 環境関連法規の取りまとめ/遵守評価の実施 環境活動レポートの発行
部門管理者	<ul style="list-style-type: none"> 統括管理者(事務局)の指示に従い、担当部門の改善活動を推進 自部門の取り組み状況を管理し、統括管理者(事務局)に報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を理解し取り組む

3. 環境経営方針

環境理念

株式会社コマツ産業は、企業活動のあらゆる場面で環境に対する負荷があることを認識し、自社内での改善活動はもとより、地域社会との共生を図りながら、環境に関する諸活動に積極的に取り組んで参ります。

行動指針

- (1) 適用される環境関連法令、同意するその他の環境関連事項を遵守します。
- (2) 次の事項について具体的な環境経営目標及び環境経営計画を定め取組みます。
 - ① 節電、エコドライブの推進に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 分別の徹底、リサイクルの推進に努め、廃棄物排出量を削減します。
 - ③ 節水に努め排水量を削減します。
 - ④ 環境に配慮した製品の生産方法を検討・推進します。
 - ⑤ グリーン購入を推進します。
- (3) 地域社会との交流・情報交換を大切にし、共生を図っていきます。
- (4) 本方針を全社員に周知し、環境システムの継続的改善を進めます。



制定日：2014年7月8日

株式会社 コマツ産業

代表取締役

今井貴雄

4. 環境経営目標

2021年5月～2022年4月までの1年間の使用量・排出量の調査を行い、その数値を基準値として本年度以降の目標数値を設定し、以下に示す。

原単位の基本	年間生産量(t)	3,510
	年間水使用量は人数(人)	36

環境方針の項目	取組項目	目標種別	単位	年間の削減目標又は取組み頻度 (年度は5月～翌年4月)							
				2021年度	2023年度		2024年度		2025年度		
				基準値	目標率	目標値	目標率	目標値	目標率	目標値	
二酸化炭素の排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	総量	kg-CO ₂	151,469	-20%	121,175	-22%	118,146	-24%	115,116	
		原単位	kg-CO ₂ /t	43.0		34		34		33	
	電力の使用量削減	総量	kwh	322,759	-10%	290,483	-12%	284,028	-14%	277,573	
		原単位	kwh/t	92		83		81		79	
	灯油の使用量削減	総量	L	1,066	-5%	1,013	-6%	1,002	-7%	991	
LPGの使用量削減	総量	kg	維持管理								
	ガソリンの使用量削減	総量	L	233	-5%	221	-6%	219	-7%	217	
廃棄物の排出量削減	一般廃棄物の排出量削減	総量	kg	2,304	-20%	1,843	-21%	1,820	-22%	1,797	
		原単位	kg/t	656		525		519		512	
	産業廃棄物の排出量削減	総量	kg	3,085	-20%	2,468	-22%	2,406	-24%	2,345	
		原単位	kg/t	879		703		686		668	
排水量の削減	上水使用量の削減	総量	m ³	447	-20%	358	-22%	349	-24%	340	
		原単位	m ³ /人	11.8		9.9		9.7		9.4	
環境に配慮した生産方法	金属屑の排出(歩留率の向上)	総量	%	65.0	1%	65.7	2%	66	3%	67	
グリーン購入の推進	グリーン購入品目数の拡大	総量	品目数	8	12%	9	24%	10	36%	11	

※ 電力の二酸化炭素の排出係数は中部電力の2021年度0.431kg-CO₂/kWhを使用する。

※ 産業廃棄物の排出量削減の基準の数値は、2021年度に排出した総量にしている。

(基準値は3年毎に見直しをしていく)

※ 化学物質(PRTR制度 対象化学物質)の取り扱い無し。

###



5. 環境経営計画

環境目標に掲げた数値目標を達成するために、各項目の具体的な取り組み内容・確認方法・担当部署を決め、以下に示す。

環境方針 No.	取組項目	具体的な取り組み内容	確認方法	担当部署
①	二酸化炭素排出量の削減	冷暖房の使用時は設定温度を標準化して使用	ステッカー	間接部門
		冷暖房機のコントロール画面に清掃表示が出たときに実施	表示	
	電力の使用量削減	作業時以外は消灯徹底	手順書	全部門
		残業時、昼休み時、退社時の節電徹底	手順書	
	灯油の使用量削減	一定時間以上作業場所を離れる際は、ストーブの消火徹底(防火対策含む)	手順書	全部門
	ガソリンの使用量の削減	エコドライブの徹底	ステッカー	全部門
		購入時にエコカーへの切り替え検討	-	間接部門
温室効果ガスの排出抑制	都市ガス、灯油等の環境負荷の少ない燃料を優先的に購入、使用	記録	間接部門	
②	一般廃棄物の排出量削減	裏紙を再利用し、紙使用量の削減実施	ステッカー	全部門
		私物ゴミの持ち帰り徹底	手順書	
		軍手の再利用、ゴム手袋使用による軍手使用量削減	-	
	産業廃棄物の排出量削減	排出量削減の意識向上	ステッカー	全部門
産業廃棄物等の適正処理	廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正処理実施	記録	事務局	
③	上水使用量の削減	節水の意識向上	ステッカー	全部門
④	金属屑の排出(歩留率の向上)	コイル材のトップ/エンド部分を製品として使用	記録	プレス部門
⑤	グリーン購入の推進	エコ商品の購入推進	記録	間接部門

※ 通年実施とする。

6. 環境経営目標の実績

2021年5月～2022年4月の実績を基準値とし、2023年5月～2024年4月までの1年間の使用量・排出量の実績値及び基準値に対する増減率を以下に示す。

原単位の基本	2021年5月～2022年4月生産量(t)	3510
	2021年5月～2022年4月迄の年間水使用量は人数(人)	38
	2023年5月～2024年4月生産量(t)	6044
	2023年5月～2024年4月迄の年間水使用量は人数(人)	36

環境方針の項目	取組項目	目標種別	単位	2021年度 (基準値)	2023年度			
					実施期間5月～翌年4月			
					削減目標		実績値	増減率
					目標率	目標値		
二酸化炭素の排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	総量	kg-CO2	151,469	-20%	121,175	185,450	22.4%
		原単位	kg-CO2/t	43.0		34.4	30.7	-28.6%
	電力の使用量削減	総量	kwh	322,759	-10%	290,483.1	378,926	17.4%
		原単位	kwh/t	92		82.8	63	-31.9%
	灯油の使用量削減	総量	L	1,066	-5%	1,012.7	2,010	88.6%
	ガソリンの使用量削減	総量	L	233	-5%	221.4	299	28.5%
廃棄物の排出量削減	一般廃棄物の排出量削減	総量	kg	2,304	-20%	1,843.2	1,710	-25.8%
		原単位	kg/t	656		524.8	283	-56.9%
	産業廃棄物の排出量削減	総量	kg	3,085	-20%	2,468.0	0	-100.0%
		原単位	kg/t	879		703.1	0.0	-100.0%
排水量の削減	上水使用量の削減	総量	m ³	447	-20%	357.6	285	-36.4%
		原単位	m ³ /人	11.8		9.4	7.9	-33.0%
環境に配慮した生産方法	金属屑の排出(歩留率の向上)	総量	%	65.0	1%	65.7	65.0	0.0%
グリーン購入の推進	グリーン購入品目数の拡大	総量	品目数	8	12%	9.0	9	12.5%
原単位 削減率 合計								-145.8%

※ 増減率=(実績-基準値)÷基準値×100

※ 電力の二酸化炭素の排出係数は、中部電力の2021年度0.431kg-CO2/kWhを使用した。

※ 産業廃棄物の排出が定期的でないため産業廃棄物の排出量削減の基準の数値は、2019年度の実績値を使用した。

(基準値は3年毎に見直しをしていく)

7. 環境経営計画の取組結果とその評価 ・次年度取組内容

7-1 環境経営計画の取組結果とその評価

環境取組目標の基準値と実績値の比較を行い、結果・達成率及び評価を以下に示す。

取組項目	結果	評価
	増減率	
二酸化炭素排出量の削減	○ -28.6%	不良選別による客先訪問の回数減少や、電気、ストーブ等のこまめな消灯を全体で行った結果
電力の使用量削減	○ -31.9%	休憩時間等こまめな消灯を行った。
灯油の使用量削減	× 88.6%	基準年度より寒かった為、灯油の使用量が増えた。
ガソリンの使用量削減	× 28.5%	コロナ明けで取引先に出向く機会がコロナ前の水準に戻ったと同時に、昨今の品質問題に対し、対応を協議する機会が増加した。
一般廃棄物の排出量削減	○ -56.9%	私物ゴミの持ち帰り徹底や、軍手の再利用及び、ゴム手袋使用による軍手使用量削減を行っている
産業廃棄物の排出量削減	○ -100.0%	自社内で発生する産業廃棄物について、リサイクル業者等を利用し再利用する取り組みを行った。
上水使用量の削減	○ -33.0%	教育による、節水意識の向上
金属屑の排出(歩留率の向上)	△ 0.0%	生産増にも関わらず、トップエンドの使用を積極的に行っている。
グリーン購入品目数の拡大	○ 12.5%	事務用品・現場消耗品等を購入コストを比較しながらグリーン商品に変更していく。

7-2 環境経営計画の次年度取組内容

目標を達成できているものは取り組みを継続して改善を行い、達成出来ていないものは取り組みを見直し改善に努める。

取組項目	次年度取組内容
二酸化炭素排出量の削減	事務所・食堂のエアコン設定温度を28度と設定する。(無理のない節電)
電力の使用量削減	使用しない部屋、昼休憩等のこまめな消灯を行う。
灯油の使用量削減	ストーブの使用を控える事、休憩時の使用は台数を減らしていく事を継続する。
ガソリンの使用量削減	運転の際、最短距離を調べるなど工夫をする。また、社用車は各担当者が使う為、安全・エコ運転アイドリングストップに心掛ける様にする。
一般廃棄物の排出量削減	コピー用紙の裏紙使用の継続を行う、また、印刷物の白黒化を推進していく。
産業廃棄物の排出量削減	分別作業の徹底、リサイクル業者の積極的な利用、産業廃棄物置場の定期的な掃除を行う。
上水使用量の削減	継続して節水意識を高めていく。
金属屑の排出(歩留率の向上)	コイル材のトップエンドの使用の継続、ならびに在庫低減(原単位低減)を行う。
グリーン購入品目数の拡大	継続してグリーン商品購入の拡大を検討していく。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟などの有無

8-1 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果

環境関連法規	法、条例等の項目概要	適用内容	遵守状況
廃棄物処理法	収集運搬の委託基準、処分に係る委託基準 ○ 委託しようとする産業廃棄物が収集運搬業者、処分業物の事業範囲に含まれている(許可証の写し等で確認)	委託契約書の締結	○
	○ 委託契約書に所定の内容が含まれている(委託契約書の締結)	許可証の写し等の確認	○
	○ 委託契約書の終了後、5年間保存	委託契約書の終了後、5年間保管	○
	マニフェスト制度 ○ 排出事業者はマニフェストを交付し、処分が終わり次第写しを受け取り、処分状況、最終処分を確認する	排出事業者はマニフェストを交付し最終処分までを確認	○
	○ 前年度のマニフェスト交付状況を6月末までに報告をする	マニフェスト交付状況報告(6月末)	○
	○ マニフェストの5年間保存	マニフェストの5年間保存	○
	委託先の実施確認 ○ 委託する産業廃棄物を適正に処理するの能力を備えている事を、少なくとも年1回、実地で確認する(優良認定業者は不要)	1年間に1度、委託先の実地確認(優良認定業者不要)	- ※1
県民の生活環境保全等に関する条例	アイドリングストップの励行	アイドリングストップ周知・実施	○
	事業者は、悪臭の規制基準を守ること	悪臭規制基準の遵守	○
騒音規制法	工場及び事業場における事業活動並びに建設工事にともなう発生する相当範囲にわたる騒音について必要な規制を定めている	騒音測定の実施	○ ※2
		規制基準値の厳守	○
		公害防止統括者の選任	○
		公害防止管理者の選任	○
		特定施設の届出	○
振動規制法	工場及び事業場における事業活動並びに建設工事にともなう発生する相当範囲にわたる振動について必要な規制を定めている	振動測定の実施	○
		規制基準値の厳守	○
		公害防止統括者の選任	○
		公害防止管理者の選任	○
		特定施設の届出	○
浄化槽法	「法定検査」「保守点検」「清掃」といった3つの法的義務を行う	工業団地組合にて一括処理	○ ※3
グリーン購入法	製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷が出来るだけ少ないものを選んで購入する	物品購入等に際し、できる限り環境物品等を選択	○
消防法	製造所、貯蔵所又は取扱所においてする危険物の貯蔵又は取扱は、政令で定める技術上の基準に従って管理しなければならない	灯油等の適正管理	○
フロン排出抑制法	機器の点検の実施	簡易点検の実施	○
	フロン類の漏えい量の算定・報告	充填・回収証明書にて算定・報告	○ ※4
環境負荷物質	環境負荷物質の管理	規制対象物質を適正に管理する。	○

※1:優良認定業者のため実地確認不要。

※3:工業用排水無し。

※2:測定後、設備等変更なし。

※4:追加充填無し。

8-2 環境関連法規等の違反、訴訟の有無

- ・環境関連法令の遵守状況確認の結果、違反等なし。
- ・過去3年間、法令違反・訴訟及び外部からの苦情なし。

9. 全体の評価と見直しの結果

活動全体を通して以下の観点で評価を実施することにより、現状の課題を明確にし、来年以降の活動に反映させる。

活動全体の評価	
1. 環境経営目標の達成状況	コロナ明けで生産活動が戻ってきたことにより、1部項目で目標未達が出ているが、来年度の状況を見て目標の見直しを行っていく。
2. 環境経営計画の実施・運用結果	目標未達の項目が見受けられるため、状況に応じ体制・運用方法の見直しを行っていく。
3. 環境関連法規等の遵守状況	関係法令違反等なし
4. 外部からの環境関連の苦情や要望	異常・苦情等についてゼロ更新しているが、受注量の増加に伴う近隣への影響について、今後も定期的にモニタリングして行く。

次年度以降の目標・取組・環境経営システムをどのように変更すべきか検討し、問題点を明確にすることにより、来期以降の活動に反映させる。

次年度以降の活動等の見直し			代表者のコメント
1. 環境経営方針の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	<p>コロナ過における生産活動が不安定な時期を過ぎ、本来の生産活動を取り戻す一年でした。</p> <p>また上期と下期を比較して見た場合、弊社を取り巻く環境が大きく変化しており、目標設定を行うには今後1年の状況が読みづらく、変化に対応した目標設定を作ることが難しい為、次年度の結果をもって以降の活動計画を作ります。</p> <p>2024年10月15日</p> <p>代表取締役</p> <p style="text-align: right;">今井貴雄</p>
2. 環境経営目標の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
3. 実施体制の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
4. 環境経営計画の変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
5. 環境経営システムの変更	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
6. その他変更の必要な項目等	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	

